

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第42号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

はじめに

文部科学省「地(知)の拠点整備事業」 全国シンポジウム 高知開催

文部科学省が平成25年度から実施している「地(知)の拠点整備事業(Center of Community : COC)」に、本学はじめ全国82の大学等が採択、推進されています。高知大学は、これら採択機関によるネットワーク構築の取りまとめを担うべく、情報交換プラットフォームの構築を進めています。その場として、全国の採択機関が集まるシンポジウムの開催を企画しています。

日時:平成27年2月27日(金)、28日(土)

場所:高知県立県民文化ホール

基調講演:増田寛也氏(日本創生会議座長、
野村総合研究所顧問)

参加費:無料

地域の産業界や自治体を変え、各COC実施大学が地方創生に対してどのように貢献するかを議論します。プログラムの詳細については、決まり次第、本ニュースレターやセンターホームページ等によりご案内させていただきます。

COC関係者だけでなく、多くの皆様にご聴講いただきたく存じますので、ご興味ございましたらぜひお願いいたします。

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 地域と大学を繋ぐコーディネーターネットワーク
構築事業

Topic2. 平成26年度 出前公開講座開講実績

p3 産学官民連携推進部門

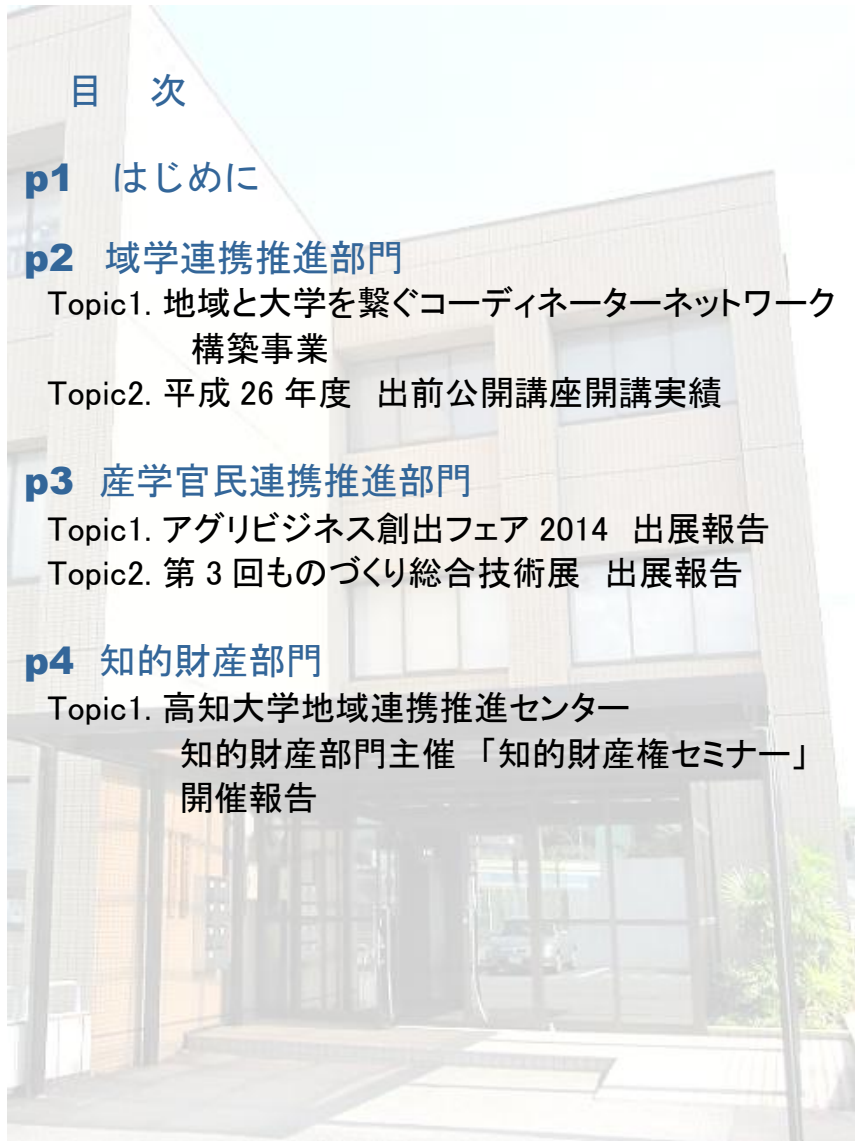
Topic1. アグリビジネス創出フェア2014 出展報告

Topic2. 第3回ものづくり総合技術展 出展報告

p4 知的財産部門

Topic1. 高知大学地域連携推進センター

知的財産部門主催「知的財産権セミナー」
開催報告



Topic 1. 地域と大学を繋ぐコーディネーターネットワーク構築事業

和歌山大学主催による標記事業のシンポジウムが11月20日、21日に、和歌山大学岸和田サテライト(岸和田市/波切ホール)にて開催されました。本学から吉用部門長が参加し、地域と大学との連携を担う各実務者との情報交換を行いました。近年はCOC事業のように、学生を含め全学的な地域と大学との連携が各地で推進されていることを受け、様々な役割に応じた大学コーディネーターの必要性和求められる専門性が議論されています。本学は地域協働学部をはじめ、全国的にも先進的であり、他大学の参考事例となるよう発信を行ってまいります。

【事例発表】

- ①長野大学 千住 義明 氏 (前地域連携センター主幹)
「私立大学地域貢献日本一を支えるコーディネーターの役割とその力」
- ②金沢大学(能登学舎) 伊藤 浩二 氏 (里山里海プロジェクト特任助教)
「地域再生を担う人材養成に果たす大学コーディネーターの役割」
- ③和歌山大学 神谷 千春・西田 喜一 (岸和田サテライト地域連携コーディネーター)
「郊外自治体との地域連携とコーディネーターの役割」

【分科会セッション】

コーディネーターの役割と専門性について

- ①広域連携型
- ②特定プロジェクト・特定テーマの連携型
- ③地元密着連携型

【全体討論】



Topic 2. 平成 26 年度 出前公開講座開講実績

高知大学は地域の方向けの各種公開講座を実施し、地域の皆様の様々な学びの意欲の充足に貢献しております。特に、地域連携推進センター域学連携推進部門では、大学キャンパスへの訪問が距離的に困難な地域の方を対象に、講座を地域に“お届け”する「出前公開講座」を実施しております。地元で開催される気楽さに加え、地元役場の生涯学習担当部局等から地元のニーズをあらかじめ汲み取った上で講座内容を調整しているため、受講生からは好評いただいております。

11月までに予定していた全ての地域における出前公開講座が完了し、最終的に平成26年度は県内5地域(芸西村、土佐町、大豊町、佐川町、梶原町)、全25講座の開催となりました。定員総数が延べ750名(30名/講座)のところ受講生は延べ515名であったことから、充足率は約70%となりました。

次年度以降も、要望がある地域にて出前公開講座を開催したいと考えております。



Topic 1. アグリビジネス創出フェア2014 出展報告

11月12日から14日の間、東京ビッグサイトにおいて、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として『アグリビジネス創出フェア 2014』が開催されました。3日間で約3万2千人の来場者があり、大学、民間企業、都道府県の試験場、独立行政法人等、全国 147 機関が最新の技術の展示が行われました。

本学からは、農学部の「藤原拓教授、永田信治教授、宮内樹代史准教授、西村安代准教授」、地域連携推進センターの「吉用域学連携推部門長」がそれぞれの研究内容や地域貢献における成果などを紹介しました。



Topic 2. 第3回ものづくり総合技術展 出展報告

11月20日から22日の間、高知ちばさんセンターにおいて、高知県内で「ものづくり」に携わる事業者の方々が、優れた技術・商品の紹介や、商談を行う場を提供することで、本県の「ものづくりの地産地消」と「地産外商」を一層推進することを目的とした『第3回ものづくり総合技術展』が開催されました。大学、民間企業、試験場等から、最新のものづくりの成果展示が行われました。



本学からの出展者

総合科学系 生命環境医学部門 教授 永田信治先生
展示テーマ「発酵食品、ペットフード、畜産、農業を変える技術」



Topic 1. 高知大学地域連携推進センター知的財産部門主催 「知的財産権セミナー」開催報告

平成 26 年度の知的財産権セミナーを平成 26 年 11 月 26 日(水)13:30～高知大学メディアホールで開催いたしました。

セミナーでは、眞久特許事務所副所長 大西浩之 弁理士が「社会で必ず、すぐに役立つ、知的財産の“いろは”」と題し、特許権や著作権、デザインに関する意匠権など知的財産権全般について、わかりやすく講演をしてくれました。学生、教職員はもちろん、高知県内の企業の方、一般の方の参加も多く、約70名が身近な発明からノーベル賞まで幅広く知的財産権について学びました。会場からは質問が多数寄せられ、知的財産への興味の深さを伺い知ることができました。

また、講演後は希望者に対する発明相談も行われ、特許出願に向けた相談に大西先生が熱心に対応されました。

